

前年度比15.1%・2億2582万円の和梨を販売

12月20日(金)、果樹部会男鹿支部による和梨共販実績検討会が男鹿地区営農センターで開催されました。生産者や市場関係者ら約30名が参加し、今年度の販売実績が前年度比15.1%の2億2582万円となったことを確認しました。

同支部では78名の生産者が8品種を生産し、8月下旬から10月下旬にかけて、同比134.9%の7万1171ケースを出荷しました。

優れた生産者の表彰式も行われ、安定した品質と数量の出荷に努めた鈴木景唱さん(男鹿市五里合)と武田新悦さん(潟上市天王)を表彰しました。



黒星病について学ぶ参加者

新成人お祝い式

1月8日(水)、J A秋田なまはげ会館で新成人お祝い式が行われ、役職員が今年成人を迎えた職員を祝いました。

新成人の職員は平成30年4月に入組した10人で、京極芳郎組合長は「10人はそれぞれの職場で日々の業務を頑張っており、利用者からも認められている。毎日の生活で培った能力や知識を生かして、心豊かで幸せな人生を歩んでほしい」と呼び掛けました。

10人は京極組合長から記念品を受け取り、「仕事をさらに覚えて支店の戦力になりたい」「20歳の自覚を持って前向きに生活したい」など抱負を語りました。



成人を迎えた職員

NEWS & TOPICS

豊作と安全を願い蔵開き

1月10日(金)、四ツ小屋低温倉庫で蔵開きを行いました。役職員15人が参加し、令和2年産の農産物の豊作や農作業時の安全を祈願しました。

参加者は倉庫内に設けられた神棚の前で、農作業が安全に行われ、良質な農産物を収穫して消費者へ安定的に提供できるように願い、手を合わせました。

京極芳郎組合長は「昨年は基本作業の慣行が重要だと感じた年だった。今年は作に恵まれ、生産者に喜ばれるような一年になるように願っている」と話し、「事故のないように気を付けて頑張してほしい」と職員を激励しました。



豊作と安全を祈願する役職員

直売向け野菜栽培講習会

1月16日(木)、追分生活センターと雄和支店で直売所向けの野菜の栽培講習会が開かれ、生産者約70名が参加しました。(株)高井南茄園の金野豊秋常務を講師に迎え、直売所で売れ筋の品種や栽培上の注意点を学びました。

金野常務は自ら栽培した所感や最近の人気傾向などを踏まえながら、ピーマンやナス、ネギやエダマメなど、幅広い品目の品種特性を紹介しました。肥料などの資材も話題に上がりました。

参加者は今年度の野菜の出来を振り返り、病虫害に強い品種や冬期間の栽培方法などの意見を交わしました。



野菜の人気品種や栽培方法を学びました